

JMAM eラーニング ライブラリ

ヒューマンエラー防止教育シリーズ ヒューマンエラー防止のための エラー自己抑制コース

◆ヒューマンエラー防止のためのエラー自己抑制コース 105 注力力の性質: 練習問題

B、弁の開閉状態を確認。
しかし、V₂の閉には気がなかった。

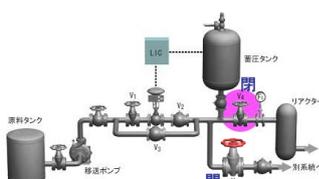
B、制御室に戻り、Aとともに原料送液開始。
蓄圧タンクの液面が規定より低いままだったので、
作業を中止。

B、再度現場を確認。
V₅から先のラインに内部リークがあるのでは、
と考え、念のためにV₅を閉止。

送液再開。
だが、蓄圧タンクの液面は一向に変わらず、
また作業を中止。

今度はAが現場を確認。
V₄を一旦閉めてラインを絶点検し、
起動予定時刻の5分前、V₂の閉に気付く。

V₂を開き、異常は解決したと思い込んだA。
予定時刻でもあり、V₄を開き忘れたまま、



ヒューマンエラー撲滅のため、ヒトの行動を分析し、エラー自己抑制を学ぶコースです。「絶対にエラーをしない」という意識を徹底することで、常にエラー抑制行動がとれるよう自律神経を鍛えます。アニメーションによるわかりやすい説明で、導入教育に最適のコースです。

特色

- 「絶対にエラーをしない」という意識がなければ、ハードウェア上でいくら対策を講じても効果は期待できません。逆にこの意識があれば、各種の防止対策が生きてくるものです。薄れがちな意識に働きかけ、常にエラー抑制行動がとれるよう自律神経を鍛えます。
- マンガタッチでわかりやすく、導入教育に最適です。
- さまざまなヒューマンエラー事例をとおして、学習を進めます。

カリキュラム

- [1. 仕事に「慣れる」ということ: 2つの行動様式]
 - 101 人間の行動の種類
 - 102 慣れた行動と慣れていない行動
 - 103 「慣れ」た行動も良し悪し
 - 104 注意力の性質
 - 105 注意力の性質: 練習問題
- [2. 操作の無意識化を防ぐ]
 - 201 現場の知恵の科学
 - 202 指差呼称について
- [3. 人間の心のしくみ]
 - 301 情動と行動
 - 302 トラブルが起こったら
- [4. エラー自己抑制のための「自己評価」]
 - 401 監視にあたっての自己評価
 - 402 異常な兆候を見つけたときの自己評価
 - 403 “ほうれんそう”の自己評価

受講対象者

プラント運転員

教材概要

想定学習時間

◆ 2 時間

最短実行時間

◆ 60 分

教材構成

◆ Webによる教材配信

◆ テスト数 2